

### 岩石薄片製作実習

期間：平成19年4月4～9日

場所：理学部 特殊加工技術開発室 光学系試料製作部門 学生実習室

主催：理学部 地球惑星システム学科

内容：岩石薄片の基礎的な製作方法（岩石の切断・研磨・貼付等）の実習，および機械・器具等の取り扱い方法についての安全教育を行った。

また，製作中に起こるケガ等は過去の事例に基づいてその都度説明を行った。

なお，技術センター職員（石佐古早実）および大学院生が実習指導を担当した。

参加者：学生24名

### 放射線業務従事者に対する教育及び訓練

日時：平成19年4月16日，4月18日等新規者用，継続者用合わせて全26回

場所：自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門 講義室

主催：広島大学自然科学研究支援開発センター

概要：放射線障害防止法により，放射線の人体に与える影響，放射性同位元素等の安全取扱い，放射線障害防止法，放射線障害予防規程の4項目について，新規者には計6時間の教育訓練の受講が義務付けられている。また，継続者に対しては，項目，時間の一部を省略し実施した。

講師は中島覚教授，稲田晋宣助教，松嶋亮人助教（自然科学研究支援開発センター）で，技術センターからは木庭亮二，寺元浩昭が指導スタッフ等として参加した。

参加者：教職員，学部生，大学院生，研究員等 合計356名

### 放射線業務従事者に対する教育及び訓練

（新規教育，継続教育）

期間：平成19年5月11日，5月14日，5月15日～5

月18日，8月17日，9月11日，9月20日，9月26日，9月28日，11月7日，11月26日，12月25日，平成20年1月15日，3月3日

場所：医学部第5講義室，医学部第4講義室，医学部第1講義室，医歯薬学総合研究科 RI 研究共同施設

主催：医歯薬学総合研究科 RI 研究共同施設

内容：放射線障害防止法で義務付けられている放射線業務従事者に対する教育及び訓練。内容は，放射線の人体に与える影響，放射線障害防止法，放射性同位元素等の安全取扱い，放射線障害予防規定で，教育及び訓練の時間数は6時間以上となっている。技術センター職員（辻村智隆）が講師及び指導スタッフとして参加。

参加者：教職員，医員，大学院生，研究生，学部生など約350名。

### 廃液回収システム講習会

期間：平成19年5月15日，5月17日，11月15日，11月26日

場所：生物圏科学研究科 C 棟314号室，歯学部 B 棟2階第4講義室，工学部 B4棟112講義室，臨床棟1階医学部第5講義室

主催：環境安全センター

内容：廃液回収を利用する教職員・学生，特に新しく赴任された方，初めて実験廃液を出される方などを対象とする廃液回収システムの講習会を実施した。東広島キャンパスと霞キャンパスにおいて，それぞれ前期と後期に開催した。約1時間かけて廃液の分別方法，事務手続き，廃液回収日の手順，消防法に係る安全上の注意点等を説明し，質疑応答を行った。実施会場が東広島キャンパスの場合には，環境安全センターの一般実験系排水処理設備の見学も行った。技術センター職員（坂下英樹）は教員とともに講師と

して参加した。

参加者：教職員，大学院生及び学部生約140名

### 分析機器利用講習会

期間：平成19年5月21日～6月8日

場所：自然科学研究支援開発センター

主催：自然科学研究支援開発センター 物質科学機器分析部

内容：教職員・学生を対象に，基本的な機器分析技術の習得を目的として，自然科学研究支援開発センターに設置している分析機器（電子プローブマイクロアナライザー・超伝導核磁気共鳴装置・高分解能透過型電子顕微鏡など）の操作方法及び分析の具体例を紹介した。技術センター職員（柴田恭宏，藤高仁）が指導スタッフとして参加した。

参加者：教職員，大学院生及び学部生78名

### 毒性可燃性ガス及び

#### 特殊高圧ガス使用に伴う保護具講習会

期間：平成19年10月19日

場所：工学研究科管理棟大会議室

主催：工学研究科部局長支援グループ

内容：毒性可燃性ガス及び特殊高圧ガスの貯蔵設備（シリンダーキャビネット）を有する施設においては，緊急時の対応として保護具（空気呼吸器，防毒マスク，保護衣，保護長靴及び防護手袋）を設置することとなっている。また，毒性可燃性ガス及び特殊高圧ガス使用者は保護具の装着訓練を行うとされている。工学研究科では教職員・学生を対象に保護具説明会及び装着訓練を実施した。

#### 講習内容

##### (1) 保護具説明会

説明者（株）シゲマツ製作所広島営業所 福田氏

##### (2) 保護具装着訓練

指導者（株）シゲマツ製作所広島営業所2名  
工学研究科管理棟大会議室にて，保護具3組を準備し，使用方法等の指導を受け，学生・教職員が実際に保護具を装着した。

技術センター職員（清水 高）は講習会の企画立案・司会進行を担当した。

参加者：工学研究科18名，先端物質化学研究科8名，合計26名